

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

TSH 及び FT4 同時スクリーニングと先天性中枢性甲状腺機能低下症についての実態調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山 隆 (病院長)

【研究責任者】 濱田 淳平 (小児科 講師)

【研究代表者】 濱田 淳平 (小児科 講師)

【研究の目的】

甲状腺機能は、主に視床下部-下垂体-甲状腺系により定常状態に保たれています。この系のいずれの障害によっても甲状腺機能低下症は起こり得ますが、甲状腺を原因とする原発性甲状腺機能低下症と視床下部-下垂体を病因とする中枢性甲状腺機能低下症に大別されます。先天性中枢性甲状腺機能低下症は、原発性甲状腺機能低下症と比較すると頻度が少なく軽症であるとされていますが、治療開始が遅れることにより、精神運動発達の遅れや高度な低身長などを示す重症例も報告されており、早期発見・早期治療が重要です。しかし、現在国内の多くの地域で行われている新生児マススクリーニング(TSH のみ測定)では先天性中枢性甲状腺機能低下症を発見することは難しく、多くの症例が見逃されていると考えています。そこで、先天性中枢性甲状腺機能低下症が発見されやすい、TSH 及び freeT4 同時スクリーニングを実施している地域と実施していない地域で、診断頻度や診断に至るまでの期間、発達障害や合併症の状況、転帰などを比較し、今後の新生児マススクリーニングのあり方を検討しようとするのが、本研究の目的です。

【研究の方法】

2012年4月1日から2022年3月31日の間に、先天性中枢性甲状腺機能低下症と診断されたお子さまを対象に調査を致します。

以下を調査項目とします。

- ・ 背景(年齢、性別、周産期情報、出生地、甲状腺疾患の家族歴)
- ・ 中枢性甲状腺機能低下症の診断の端緒
- ・ マスクリーニング情報
- ・ 初診時の症状
- ・ 甲状腺機能に関する情報
- ・ 甲状腺以外の内分泌機能に関する情報
- ・ 画像検査の情報
- ・ 合併症および精神運動発達に関する情報
- ・ 治療内容
- ・ 転帰

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、CD-Rに保存し、施錠可能な保管庫で保存します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院 小児科 濱田 淳平

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院小児科 濱田 淳平
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5320